

令和4年度学校評価書 磐田市立東部小学校

評価⇒A:強く思う B:そう思う C:あまり思わない D:全く思わない

| 重点 | 核となる教育活動 | 目標・取組 | 評価指標・目標数値 (A:強く思う の児童の割合) | | | | 自己評価 | 考察・改善策 | 学校関係者評価委員から | | |
|---|----------------------------|---|---|---|-----|-----|------|---|---|---|--|
| | | | 児童 | 児童 | 児童 | 児童 | | | | | |
| ①② 集団としての思いを力をもつて活動一人一人の組み欲自主実践自立の基礎を培う。(共生)(自立) | 集団としての力を培う「徳」「知」「体」の重点実践事項 | ◆徳育 自分・他者のことを考え温かな心でつながる ・道徳の時間をかなめとして学校教育全体を通じて行う道徳教育 ・子供の主体的な活動を重視した連帯感や協調性、社会性の育成 ・人権を意識する人間関係づくり ・心にひびく生徒指導 ・多様な人々との交流 ・心を育てるタグラグビー ・伝統を引き継ぐKTA活動 | 片付けや清掃に、一生懸命取り組んでいる「K」・・・目標50%以上 | 34% | 90% | 10% | B | ○徳育 今年度は、子供たちの中間評価から、「KTA」を大切にしていること、改めてKTAに込められた思いや活動内容を再認識して2学期から取り組んだ。数値では、目標に到達しなかったが、愛校活動に取り組む高学年の姿や廊下での会釈や挨拶の声等、確実に子供たちがKTAを意識して生活していると変化を感じられている。 ※今後も東部小が受け継いできた「KTA」を大切に教育活動を更に推し進めていく。徳育だけでなく、知育と体育でも「KTA」を取り入れ、子供たちが東部小の自慢として誇れる活動になっていくように進めていく。 ○知育 全国学力・学習状況調査(6年生)では、国や県とほぼ同じ正答率だったことから確かな学力は定着していると言える。しかし、子供の自己評価は低く、授業の様子から「わかった」「できた」と感じている子は多くいるが「深まった」は実感できていないように思える。 ※CSCによる学習人材ボランティアのアップデートが行われた。本物に触れる、本物を体験することは、子供の学びに火を灯すこととなった。地域の方の力も活用し、理解を深めることや探究的な学習を進めていく。 ※落ち着いて集中して授業に臨めるよう、学習環境を整えることを大切に、「聞く・聴く」ことを大切に授業づくりをしていきたい。 ○体育 新型コロナウイルス感染症の影響で、子供たちには色々と制限されることが続いてしまう一年となった。その結果、昨年度より数値は低くなってしまった。そんな中、今年度から体育授業で必ず取り入れることになった縄跳びに進んで取り組む子が増え、昼休みにはジャンピングボードで技を磨いている。 ※今後は、食育に重点を置き、食事のマナーなどを含め、食に関心をもって食事を取れるように指導していきたい。また、体を動かす楽しさを味わわせたり、苦しくても粘り強く取り組む忍耐力をつける体育指導を続けていく。 | ・KTA活動は社会に出ても必ず必要になることだから、これからも強く意識して活動してもらいたい。 ・東部小の誇れる活動であるKTA活動を継続して進めてほしい。また、人権意識についても引き続き学校全体で取り組んでほしい。 ・学校をきれいにしようとする高学年の姿がすばらしい。 ・校内がいつも清掃されていて、感心する。 ・登校中、挨拶できることできない子といる。高学年がお手本となっている。 ・子供たちから挨拶をしてきて、ほのぼのとした感じになる。 ・進んで聞いたり自分で調べることを教員が率先して児童に促し、理解を深める環境づくりをしてほしい。 ・CSCを通して、子供たちの成長を見ていけるのが楽しみ。また子供たちに何かを残すことのお手伝いのためにアンテナを高くして地域の多くの人材をつなげていきたい。 ・CSCの活動について、学校職員、地域、保護者等、周知してもらおう方法を考えていきたい。 ・CSCの活動として図書室の活動を地域の方々の力を借りながら進めたり、交流センターとの関わりを強くし、人材募集をお願いしたりしていきたい。 ・縄跳びは良い運動。縄跳びカードをさらに充実させてほしい。 ・食育の中で、お店の人の講演、給食従事者の講演など、食に興味を持つような工夫が必要。 ・人間が生きていく上での食の大切さを学び機会をぜひ増やしてほしい。 ・タグラグビーを通して、自主・自立の基礎を育ててほしい。 ・ラグビーの歴史や精神も学んでほしい。 ・自分の思うことを人に伝えられる人になれるように学習してほしい。 ・なんでも報告・連絡・相談する習慣を身に付けてほしい。 ・学習用端末を効果的に使ったチャレンジした授業にも取り組んでほしい。 | | |
| | | ◆知育 「わかった」「できた」「広がった」「深まった」の学びの実感を積み重ねる ・確かな学力が育つ土壌作り ・個が生きるきめ細かな教育の充実 ・「みやのもり学府(よつば学府)小中一貫教育の推進 | 授業で、勉強している内容が分かる・・・目標55%以上 | 45% | 91% | 9% | A | | | | |
| | | ◆体育 健やかな生活を実現する ・体力テストの結果に基づく体育経営の工夫改善 ・健康で安全な生活を送る習慣づくり ・食育を通した望ましい食習慣づくり ・校技「タグラグビー」を柱にした体育経営 | 進んで先生に聞いたり自分で調べたりして学習している・・・目標50%以上 | 35% | 83% | 17% | B | | | | |
| | | | 決めた量の給食を残さず食べている・・・目標80%以上 | 49% | 79% | 21% | B | | | | |
| | | | 外で遊んだり、運動したりしている・・・目標75%以上 | 54% | 82% | 18% | B | | | | |
| | | 自主・自立の基礎を培う三つの場(時間) | ◆KTA活動 ◆ドリームタイム ◆タグラグビー東部カップ | 自分の思いをかなえるために、自分から進んで物事に取り組んでいます。 | 37% | 87% | 13% | | | B | ○結果から「自分で考えて」、「自ら進んで」ということ苦手と感じている子が多くいることが分かった。 ※ドリームタイムでは、子供たちに選択の幅を持たせたり、教師も参加したりすることで、自ら考え行動する力を培っていきたい。また校技タグラグビーを大切に学校経営を行うために、1年を通して取り組んだり、総合的な学習の時間の中で探究的な学習を行ったりしていく。また、職員もタグラグビーに関する研修を行うなどして、学校全体で取り組んでいく。 |
| | | | | 火曜日・金曜日のドリームタイムでは、やりたいことを自分で考え、活動しています。 | 49% | 87% | 13% | | | A | |
| | | 共に学び共に育つ授業 | ◆強い思いが広げ深める学び ◆個別最適化された学び ◆応え合う仲間との学び | 自分の考えを友達に伝えることができる | 39% | 80% | 20% | | | B | ○コロナ禍の中で、ペア学習やグループ学習等に制限がある中での学習となったが、学習用端末を使って、友達に伝えたり、友達と考えを共有したりすることができた。 ※学校でしかできない「共に学ぶこと」を大切に、今後も授業を行っていく。校内研修等で授業づくりを進めたり、学習用端末を効果的に活用する工夫を続けていく。 |
| | | | | 授業では、自分なりの考えをもつことができる | 43% | 87% | 13% | | | A | |

学校関係者評価を受けてのまとめ

・東部小に受け継がれてきた「KTA」は、保護者や地域にもその言葉や精神、活動が根付いていると感じた。今後も、この「KTA」を大切に、ますます活動を充実させていきたい。KTAを学習や運動・健康教育にも取り入れ、教育活動全体で意識して取り組んでいく。
・校技「タグラグビー」のよさを生かすべく、校内で実施する東部カップ等タグラグビーに関する活動を充実させていく。タグラグビーで子供たちの心(KTA)心を育てる。タグラグビーの技術だけでなく、様々な知識を広げていくために、わくわくの時間(総合的な学習の時間)の中で、探究的な学習を行ったり、高学年が下学年を指導したりと年間を通してタグラグビーと触れ合う活動を行う。
・今後も感染症への対策を含め、子供たちの安心安全な学びの場を確保しつつ、子供たちに楽しさや感動をたくさん与えられるように教育活動を工夫して行っていく。